

令和7年度に正会員が開催した安全大会について

	埼玉協会	東京協会
日程	令和8年3月13日 14:00～	令和8年1月26日 15:00～16:40
形式	リアル	リアル
参加人数	90名	147名
開催案内	会員企業に郵送 HPに掲載	<ul style="list-style-type: none"> <li>正会員へ郵送にてご案内 (賀詞交歓会と同日開催のため、賀詞交歓会と安全衛生推進大会の案内を一枚にまとめた)</li> <li>協会機関誌で事前周知を図った。</li> </ul> <p>資料_東京-1 参照</p>
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉労働局 労働基準部健康安全課</li> <li>二階堂労働安全コンサルタント事務所 CSP労働安全コンサルタント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京労働局 労働基準部安全課 地方産業安全専門官</li> </ul>
次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>①主催者あいさつ (会長)</li> <li>②講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉労働局労働基準部健康安全課 「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」</li> <li>二階堂労働安全コンサルタント事務所 「廃棄物処理業における安全衛生」</li> </ul> </li> <li>③事例発表(1社) <ul style="list-style-type: none"> <li>ツネシカムテックス株式会社 埼玉工場</li> </ul> </li> <li>④安全宣言 安全衛生委員会 担当副会長</li> </ul> <p>資料_埼玉-1,2 参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①開会 (専務理事)</li> <li>②主催者挨拶 (会長、安全衛生推進委員会委員長)</li> <li>③来賓祝辞 (東京労働局 労働基準部安全課長)</li> <li>④講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>東京労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」</li> </ul> </li> <li>⑤労働安全衛生における全産連会長感謝状贈呈</li> <li>⑥安全衛生標語コンクール授賞式</li> <li>⑦「SAFETY IDEA ♡ 東産協」安全衛生好事例発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>優秀賞受賞社の事例発表及びインタビュー</li> <li>「キラリと光った de 賞」結果発表 (応募作品を会場投票で賞を決定した)</li> </ul> </li> <li>⑧安全宣言 (安全衛生推進委員会委員長)</li> <li>⑧ガンバロー・コール (安全衛生推進大会プロジェクトメンバー)</li> <li>⑨閉会 (専務理事)</li> </ul> <p>資料_東京-2,3,4,5 参照</p>
課題等	<p>講師と神奈川県協会が作成した「初歩の労災マニュアル」をテキストとして配布し、より実践的な従業員向けの安全衛生大会を開催した。また、参加者については、昨年度より増えたものの、当県の災害発生率は依然として高いため、引き続き周知徹底に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席していない会員が大会の講演を録画受講できるかなど検討していく。</li> <li>受講証明書が欲しい等の声も上がっており、発行するか検討。</li> <li>「SAFETY IDEA ♡ 東産協」(各社の安全衛生事例の募集)が大変好評(東京労働局からもお褒めいただいている)のため今後も続けていく予定であるが、今後も応募が集まるかが課題である。</li> </ul>

	神奈川協会	石川協会
日程	令和7年9月24日 14:00~16:30	令和7年4月22日 14:00~
形式	リアル	ハイブリッド
参加人数	77名	220名
開催案内	会員企業に郵送およびメール配信 HPに掲載 <a href="#">資料_神奈川-1 参照</a>	会員企業に参加申込書を送付（メール・FAX） 災害廃棄物処理に携わる関連企業に周知（仮置 場ごと）
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川労働局労働基準部安全課安全専門官</li> <li>日本労働安全衛生コンサルタント会 CSP労働安全コンサルタント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川労働局</li> </ul>
次第	<p>①主催者挨拶 （会長、安全衛生協議会議長）</p> <p>②労働安全衛生標語の優秀作品表彰式</p> <p>③講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害発生の 現状」について</li> <li>日本労働安全衛生コンサルタント会 「初歩の労災防止マニュアル（第4版）」につ いて</li> </ul> <p>④閉会</p> <p><a href="#">資料_神奈川-2 参照</a></p>	<p>①開会挨拶（会長）</p> <p>②来賓挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川協会顧問 石川県議会議員</li> <li>石川県生活環境部 参事</li> <li>環境省中部地方環境事務所 能登半島災害対応室 室長</li> <li>石川県構造物解体協会 会長</li> </ul> <p>③報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川協会災害対応室 室長 「大規模災害廃棄物処理支援事業 経過報告」</li> </ul> <p>④安全対策講習</p> <p>(1)安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石川労働局労働基準部長 「能登半島地震対応に係る労働災害防止対策 のポイント」</li> <li>石川労働局労働基準部監督課監督係長 「能登半島地震・奥能登豪雨災害対応に係る労 務管理について」</li> </ul> <p>(2)質疑応答</p> <p>⑤閉会挨拶（副会長）</p> <p><a href="#">資料_石川-1,2 参照</a></p>
課題等	<p>現在、神奈川県内の労働災害発生状況は極めて 深刻な局面にあります。令和6年度から続く 増加傾向に歯止めがかからず、ついに全国で最 も災害が多い県という結果となってしまいま した。</p> <p>この事態を重く受け止め、神奈川安全衛生協議 会では現在、「今すぐ現場で使える対策」の具 体化を急いでおります。</p> <p>①「初歩の労災防止マニュアル」の改訂→より 直感的に理解できるよう内容を刷新し、現場で の即戦力となる教材として提供します。</p> <p>②実践型研修会の通年開催→従業員一人ひと りの「安全への感度」を高めるための従業員を 対象とした研修会を通年で開催、計画を策定し ています。</p> <p>③これらの対策を実効性のあるものにするた めには、現場の「生の声」が不可欠です。安全 衛生調査やヒヤリハット報告書の提出、安全衛 生大会や地域セミナーへの積極的なご参加を 呼びかける。</p> <p>「当たり前のことを、当たり前」。今一度こ の原点に立ち返り、お互いに声を掛け合う地道 な活動から、安全な神奈川を取り戻していこう と考えています。</p>	<p>「災害廃棄物処理現場」に特化したテーマで 開催</p>

	愛知協会	広島協会
日程	令和8年2月4日 13:30~16:15	令和7年7月9日 13:30~
形式	リアル	リアル
参加人数	60名	81名
開催案内	会員企業にファックス配信 HPに掲載	会員企業、ファクシミリ・メール配信 <a href="#">資料_広島-1 参照</a>
講師	・中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター 安全管理士 衛生管理士	・広島労働局労働基準部 健康安全課
次第	<p>①開会のことば (安全衛生委員)</p> <p>②会長挨拶</p> <p>③安全衛生委員長挨拶</p> <p>④来賓挨拶 (代読)(愛知労働局労働基準部安全課長)</p> <p>⑤講演会 ・中災防中部安全衛生サービスセンター 安全管理士・衛生管理士 「演題：職場における熱中症対策について」</p> <p>⑥安全衛生活動の取組事例発表(2社)</p> <p>⑦表彰 ・安全優良職長 ・安全優良事業所 ・安全標語</p> <p>⑧安全宣言 (安全衛生副委員長)</p> <p>⑨閉会のことば (安全衛生委員)</p> <p><a href="#">資料_愛知-1 参照</a></p>	<p>①開会 (安全衛生委員長)</p> <p>②主催者挨拶 (会長)</p> <p>③来賓祝辞 (広島労働局)</p> <p>④令和7年度(一社)広島県資源循環協会「労働安全衛生表彰」</p> <p>⑤令和7年度「安全標語」入選作品発表・表彰</p> <p>⑥講演 ・広島労働局 労働基準部健康安全課 「労働安全衛生の徹底について」</p> <p>⑦事例発表 ・丸本鋼材株式会社 「安全への取り組みについて」</p> <p>⑧安全用品紹介 1.株グリーンクロス 2.トライシクル株 3.オオスカ工業株</p> <p>⑨安全宣言 (安全衛生委員・一部唱和)</p> <p>⑩閉会 (安全衛生委員)</p> <p><a href="#">資料_広島-2,3 参照</a></p>
課題等	<p>愛産協としては第13回目の安全大会であった。3年前から安全標語を募集し表彰を安全大会で行うなど、新たな企画も加えたが、ややマンネリ化しつつある感があり、参加者も昨年度より減ってしまった。</p> <p>また、安全大会以外の安全衛生行事もそうだが、参加会員が固定化しているように見受けられるため、安全衛生活動にあまり関心がない、あるいは安全衛生活動に取り組む余裕がない会員に、どのようにアプローチしたら、安全衛生活動に取り組むきっかけを提供できるのか、さらに考えていく必要があると感じている。</p>	<p>協会が主催する安全衛生研修等の内容の充実を図り、参加率を高めるとともに、経営トップの方針決定や所信表明率及び安全衛生規程作成率を高める必要がある。</p>

	福岡協会	鹿児島協会
日程	令和7年9月19日 14:30~16:30	令和7年8月29日 13:30~15:30
形式	リアル	リアル
参加人数	70名	71名
開催案内	会員企業にメール配信 FAX送信に連絡 <a href="#">資料_福岡-1 参照</a>	会員企業にメール配信 HPに掲載 <a href="#">資料_鹿児島-1 参照</a>
講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>福岡労働局 労働基準部 安全課 産業安全専門官</li> <li>福岡県産業資源循環協会 労働安全衛生委員会委員</li> <li>福岡県産業資源循環協会 事務局長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島労働局健康安全課 産業安全専門官</li> <li>(株)サニタリー</li> </ul>
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>①主催者挨拶 (会長)</li> <li>②来賓挨拶 (福岡労働局 労働基準部 労働基準部長)</li> <li>③表彰 <ul style="list-style-type: none"> <li>全産連 感謝状 贈呈</li> <li>福岡協会 労働安全衛生標語 優秀作品表彰</li> </ul> </li> <li>④講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」</li> </ul> </li> <li>⑤重点プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>福岡協会 「熱中症の予防と対策」</li> </ul> </li> <li>⑥安全衛生宣言 (労働安全衛生副委員長)</li> <li>⑦閉会挨拶 (労働安全衛生委員長)</li> </ol> <a href="#">資料_福岡-3 参照</a>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①開会挨拶 (会長)</li> <li>②表彰 (連合会感謝状伝達、優良事業所、標語)</li> <li>③来賓挨拶 (鹿児島労働局)</li> <li>④事例発表 (1社)</li> <li>⑤安全宣言 (安全衛生委員)</li> <li>⑥講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿児島労働局 「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」</li> </ul> </li> <li>⑦閉会挨拶 (安全衛生委員長)</li> </ol> <a href="#">資料_鹿児島-2 参照</a>
課題等	令和8年度以降の検討事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生優良事業所表彰制度の設計</li> <li>安全大会の継続実施、会員の継続参加、参加人数増加を目標として、プログラム内容の充実を図る。</li> </ul>	大会への参加者が固定化しており、安全衛生に対する意識が低い事業者への参加を促す必要がある。